

オーマック

特殊珪酸塩と有機系樹脂とを反応させ一体化した無機—有機複合材料ベースとするハードコート用塗料です。

形成塗膜は耐摩耗性、耐擦傷性、耐薬品性、耐汚染性に優れています。

◆特長

- 1 高硬度、耐擦傷性、耐摩耗性に優れる。
- 2 耐候性に優れる。
- 3 耐薬品性、耐汚染性に優れる。

◆種類

塗料タイプ	乾燥条件	適用
オーマックNo.100	80℃ × 30min	2液硬化型アクリル系樹脂ベース プラスチック用
オーマックNo.100(E)	80℃ × 30min	2液硬化型アクリルシリコン系樹脂ベース プラスチック用 調色可能(淡色系)
オーマックNo.200(A)	180℃ × 30min	高温焼付型 金属用 調色可能

◆塗装仕様

塗料タイプ	硬化剤	シンナー	混合希釈比(質量比)		膜厚(μm)	塗装粘度 秒/HIS・20℃	吹付圧力 (MPa)
			塗料(主剤)	硬化剤			
オーマックNo.100(E)	オーマック硬化剤 E (高硬度)	No.5000シリーズ	塗料(主剤)	100	8~10	8~10	0.3~0.4
			硬化剤	10			
			シンナー	50~100			
オーマックNo.100(E)	オーマック硬化剤 A (標準)	No.5000シリーズ	塗料(主剤)	40	10~12	10~12	0.3~0.4
			硬化剤	10			
			シンナー	20~40			
オーマックNo.200(A)	—	No.7000シリーズ	塗料(主剤)	50	10~12	10~12	0.3~0.4
			硬化剤	10			
			シンナー	25~50			
オーマックNo.200(A)	—	No.7000シリーズ	塗料	100	10~14	10~14	0.3~0.4
			シンナー	40~60			

◆注意事項

- 1 塗装前には素材の脱脂、洗浄を充分に行ってください。
- 2 塗料は使用前に充分攪拌してください。
- 3 希釈は各タイプに応じて専用シンナーを使用してください。
- 4 塗装仕様は塗料の種類、塗装設備、被塗物の形状で異なりますが上記仕様ご参考下さい。
- 5 2液タイプの場合は主剤/硬化剤の配合割合は指定通り、正確に行ってください。
- 6 硬化剤混合後、反応が徐々に進行します。混合後は4時間以内に使い切ってください。
- 7 直射日光を避け、密栓の上冷暗所に保管して下さい。

◆用途

精密機器、家電製品、建材関連

◆試験成績表

試験項目	試験条件	結果
付着性	セロテープ基盤目試験(付着目数/基盤目数)	100/100
鉛筆硬度	三菱Uni鉛筆使用	3H
耐アルカリ性	10%Na ₂ O水溶液スポット、20℃ × 6h	良好
耐湿性	50℃ × 95%RH × 240h	良好
耐熱性	70℃ × 120h	良好
不粘着性	発泡ポリエチレン 4.9N 50℃ × 48h	良好
耐摩耗性	往復スライド摩耗、綿布、W=4.9N 10,000回往復	良好

備考 1 素材; アクリル板

2 塗料; オーマックNo.100 クリヤー

3 膜厚; 8~10μm

※試験成績表は一般的な物性であり保証値ではありません。
塗料タイプ、塗装仕様等の詳細につきましては弊社営業所にご相談下さい。